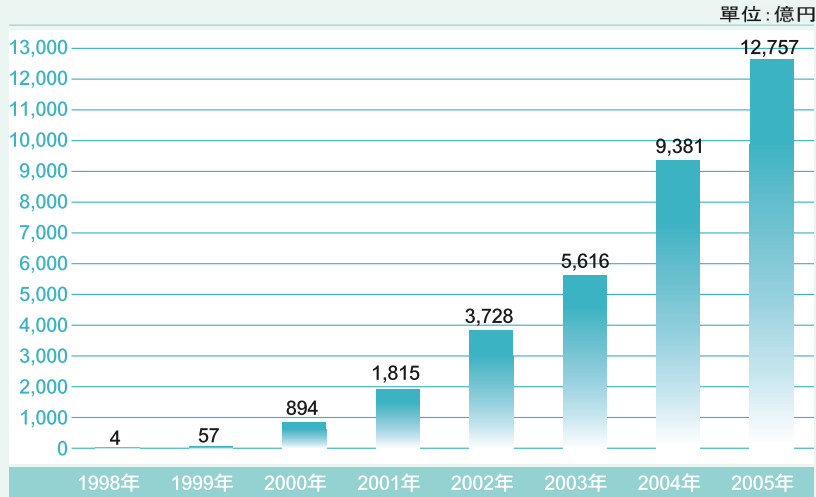
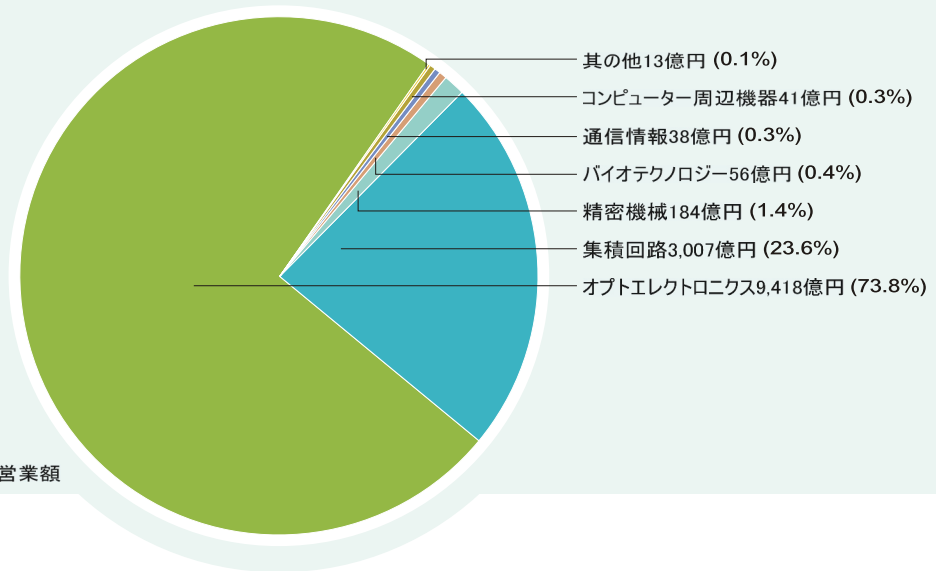


## 産業価値3千億円以上増加

2005年上半年は全世界と同様に景気成長を維持し、月間平均723億円の営業額水準を達成・維持した。下半期はオプトエレクトロニクス産業と集積回路産業の好業績を先導に、営業額月間1,085億円を突破。12月では歴史的な1,446億円という営業額新記録を達成した。2005年の年間営業総額は12,757億円で、年間目標10,848億円を達成している。2004年比で36%のプラス成長ではオプトエレクトロニクス産業が73.8%、集積回路産業が23.6%を占めた。こうした年間業績から二大産業が既に南科に深く根を下ろし、経済効果を生み出しつつあることが分かり、今後の発展がますます期待できる。



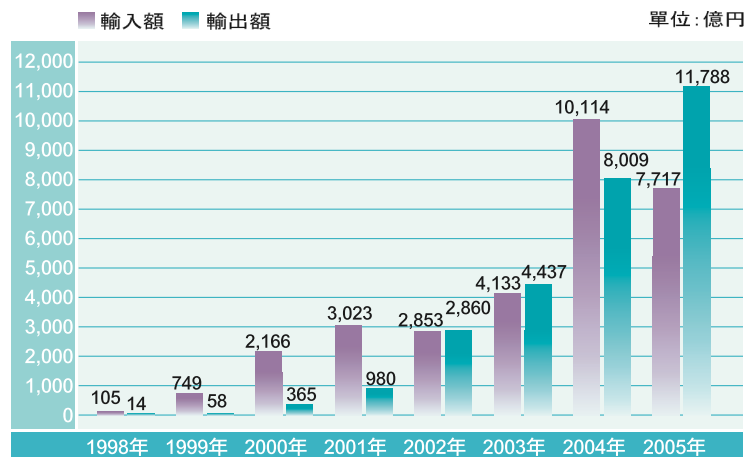
歴年営業額



## 輸出額7割の成長率

電子製品と液晶パネルへの高需要に伴い、2005年下半期の輸出額(国内販売も含む)は1,446億円に達した。2004年同期比で7割以上の成長率を示しており、年間輸出額は11,786億円に達している。主要な輸出先は香港、韓国、日本である。

一方、2005年輸入額は7,715億円であったが、2004年比では23.7%の減額であった。減額の主要要因は機械設備の輸入設置ピークが2004年であったためと考えられるが、2004年に引き続き輸入額は高水準を示している。主要な輸入先は日本、アメリカ、香港である。



歴年輸出入額